



議会だより

No.146

平成25年8月
勝浦市議会報
編集委員会
電話0470(73)6662

鵜原理想郷のヤマユリ

目次	
5月臨時会の経緯	・・・2ページ
6月定例会の経緯	・・・3ページ
即決議案	・・・3ページ
常任委員会の審査内容	・・・3ページ
議員提出議案	・・・3ページ
報告	・・・4ページ
議会日誌	・・・4ページ
一般質問	・・・5～9ページ
審議結果	・・・10ページ
みなさんの議会を傍聴しませんか	
編集後記	



刈込 欣一 副議長

市議3期目
総務常任委員会委員長、教
育民生常任委員会委員長な
どを歴任

住所 鵜原720番地

年齢 69歳



岩瀬 義信 議長

市議5期目
副議長、建設経済常任委員
会委員長、広域市町村圏事
務組合議員などを歴任

住所 市野川97番地

年齢 73歳

平成25年5月臨時会が5月17日に開かれました。
臨時会では、専決処分の承認、平成25年度一般会計補正予算など市
長提出議案3件を審議しました。
その結果、議案はいずれも原案のとおり承認、可決されました。
また、正副議長選挙が行われ、議長に岩瀬義信氏が、副議長に刈込
欣一氏が選出されました。
なお、議会運営委員、各常任委員が下表のとおり決まりました。

5月臨時会

平成25年度一般会計補正
予算など3議案を可決、承認
正副議長選挙など実施

議案の審査内容

◆議案第27号 専決処分
の承認を求めることにつ
いて(勝浦市税条例の一
部を改正する条例の制定
について)

地方税法の一部を改正
する法律が平成25年3月
30日に公布され、同年4
月1日から一部が施行さ
れたことに伴い、勝浦市
税条例の一部を改正する
条例の制定について、緊
急を要するものと認め、
去る4月1日に専決処分
したので、その承認を求
めようとするもの

新しく決まった委員会の委員

○副委員長

委員会名	委員長	委員名	所管事項
議 会 運営委員会 (8人)	 黒川 民雄	○松崎 栄二 岩瀬 洋男 刈込 欣一 佐藤 啓史 寺尾 重雄 藤本 治 丸 昭	・議会の運営に関する事項 ・議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 ・議長の諮問に関する事項
総 務 常任委員会 (9人)	 佐藤 啓史	○寺尾 重雄 板橋 甫 岩瀬 洋男 刈込 欣一 黒川 民雄 末吉 定夫 鈴木 克己 藤本 治	・総務課、企画課、財政課、税務課、市民課及び会計課の所管に属する事項 ・選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項 ・議会事務局の所管に属する事項 ・他の常任委員会の所管に属しない事項
教 育 民 生 常任委員会 (9人)	 土屋 元	○磯野 典正 岩瀬 義信 鈴木 克己 戸坂 健一 根本 譲 丸 昭 吉野 修文 渡辺 玄正	・介護健康課、生活環境課、清掃センター、福祉課及び勝浦診療所の所管に属する事項 ・教育委員会の所管に属する事項 ・税務課課税係、徴収班(国民健康保険税、後期高齢者医療保険料及び介護保険料に限る。)及び市民課国保年金係の所管に属する事項
建 設 経 済 常任委員会 (9人)	 渡辺 玄正	○吉野 修文 磯野 典正 板橋 甫 末吉 定夫 土屋 元 戸坂 健一 根本 譲 松崎 栄二	・都市建設課、農林水産課、観光商工課及び水道課の所管に属する事項 ・農業委員会の所管に属する事項

◆議案第28号 専決処分の承認を求めることについて（勝浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について）

地方税法の一部を改正する法律が平成25年3月30日に公布され、同年4月1日から一部が施行されたことに伴い、勝浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、緊急を要するものと認め、去る4月1日に専決処分したので、その承認を求めようとするもの

◆議案第29号 平成25年度勝浦市一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算、継続費及び地方債の補正で、歳入歳出予算においては、既定予算から4億9千779万円を減額し、予算総額を82億5千321万円にしようとするもの

継続費においては、（仮称）市民文化会館建設事業の総額を26億506万5千円とし、年割額を平成25年度で6億4千363万3千

円、平成26年度で18億9千680万2千円に変更しようとするもの

地方債においては、（仮

称）市民文化会館建設事業債の限度額を4億千820

万円に変更しようとするもの

6月定例会

一般職の職員の給与等の臨時特例に関する条例の制定、平成25年度一般会計補正予算など10議案を可決

平成25年6月定例会は、6月10日から6月20日までの会期11日間で開かれました。

本定例会では、条例の制定、一部改正及び平成25年度補正予算など市長提出議案のほか請願3件、発議案2件を審議しました。

その結果、議案8件及び発議案2件が原案のとおり可決され、請願2件が採択されました。

即決議案

◆議案第30号 工事請負契約の締結について

学校給食共同調理場建設工事の契約締結について、地方自治法第96条第1項第5号並びに議会の議決に付すべき契約及び

常任委員会の審査内容

審査内容

今期定例会では、総務常任委員会を6月17日、建設経済常任委員会及び教育民生常任委員会を6月18日にそれぞれ開催し、付託された議案等の審査を行いました。その審査結果が6月20日の本会議で各委員長から報告され可決、採択されました。

総務常任委員会

◆議案第31号 一般職の職員の給与等の臨時特例

に関する条例の制定について

国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律に基づく国家公務員の給与減額支給措置及び

平成25年1月28日付け地方公務員の給与の改定に関する取扱い等について

の総務大臣からの要請を踏まえ、平成25年7月1

日から平成26年3月31日までの間における一般職

の職員及び市長等の特別職の職員の給与支給額を

減額するため、本条例を制定するもの

◆議案第32号 勝浦市税条例等の一部を改正する

条例の制定について

地方税法の一部を改正する法律が平成25年3月

30日に公布されたことに

伴い、関係条例について、所要の改正をしようとするもの

◆議案第37号 平成25年度勝浦市一般会計補正予

算

歳入歳出予算及び地方債の補正で、歳入歳出予算においては、既定予算

に1億7千2万5千円を追加し、予算総額を84億

2千323万5千円とするもの

地方債においては、自然災害防止事業債を追加し、消防施設整備事業債

の限度額を変更しようとするもの

◆建設経済常任委員会

◆議案第36号 勝浦市道路占用料徴収条例の一部

を改正する条例の制定に

ついて

道路法施行令の一部を改正する政令が平成25年4月1日から施行されたことに伴い、道路の占用許可対象物件として太陽光発電設備等及び津波避難施設が追加されたことから、本条例について所要の改正をしようとするもの

◆請願第1号 TPP交渉参加に関する意見書の提出を求める請願

◆教育民生常任委員会

◆議案第33号 勝浦市子ども・子育て会議条例の制定について

子ども・子育て支援法第77条の規定による審議会として、本条例を制定

しようとするもの

◆議案第34号 勝浦市放課後児童健全育成事業条例の一部を改正する条例

の制定について

豊浜小学校内にとよはま放課後ルームを設置するにあたり、本条例の一部を改正しようとするもの

◆議案第35号 勝浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法の一部を改正する法律が平成25年3月30日に公布されたことに伴い、本条例について所要の改正をしようとするもの

◆請願第2号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願

◆請願第3号 「国における平成26年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願

議員提出議案

議員提案により発議が提出されました。

◆議案第4号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

◆議案第5号 教育予算拡充に関する意見書

第4号は賛成多数で、第5号は全員賛成で可決され、意見書については、関係行政庁に送付されました。

報 告

最終日に市長から3件

の報告がありました。

◆報告第1号 平成24年度勝浦市一般会計継続費繰越計算書について

(仮称)市民文化会館建設事業に係る経費6千463万円を平成25年度へ繰り越すもの

◆報告第2号 平成24年度勝浦市一般会計繰越明許費繰越計算書について

勝浦駅北口こ線人道橋維持補修工事ほか16件に係る経費23億9千658万3千円を平成25年度へ繰り越すもの

◆報告第3号 平成24年度勝浦市一般会計事故繰越し繰越計算書について

部原青年館改修工事及び監理業務委託ほか1件に係る1千497万3千円を平成25年度へ繰越すもの



公園予定地視察 (総務常任委員会)

【議会日誌】

5月

8日 議会報編集委員会

13日 議会運営委員会・議会改革検討委員会・全員説明会

15日 千葉県南部地区議会道路整備協議会会計監査・役員会

16日 千葉県南12市議会議長会総会(木更津市)

17日 5月臨時会

22日 全国市議会議長会定期総会(東京都)

24日 千葉県南部地区議会道路整備協議会定期総会(市原市)

28日 千葉県自治体病院経営都市議会協議会役員会・総会(千葉市)

29日 市政懇談会



6月

1日 勝浦港カツオまつり

3日 いすみ鉄道対策協議会会計監査

5日 議会運営委員会

10日 6月定例会 本会議

12日 本会議(一般質問)

13日 本会議(一般質問)

14日 本会議(質疑)

17日 総務常任委員会

18日 建設経済・教育民生常任委員会

20日 本会議(最終日)

議会改革検討委員会

7月

1日 議会運営委員会

3日 勝浦市防犯組合総会

5日 7月臨時会

議会改革検討委員会

いすみ鉄道対策協議会総会

(大多喜町)

次のとおり議会報編集委員会の委員が決まりました。

委員会名	委員長	委員名	所管事項
議会報編集委員会 (7人)	 戸坂 健一	○土屋 元 磯野 典正 刈込 欣一 黒川 民雄 根本 譲 吉野 修文	・議会報の編集、発行について必要な事項を協議する。

… 一 般 質 問 …

市政の が聞きたい

6月12・13日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。

12 日	丸 昭 議員 1. 水田農業の振興政策における今後の取り組みについて（T P Pも含めた考え方） 2. 市民生活に係るインフラ整備について	13 日	吉野 修文 議員 1. 基盤整備を伴う道路整備について
	鈴木 克己 議員 1. 議員勝浦市地域環境総合計画について 2. 勝浦市地球温暖化防止対策実行計画について 3. 勝浦市有害鳥獣被害防止計画について 4. 河川環境状況調査・美化事業について		松崎 栄二 議員 1. 住宅リフォーム助成制度の実績及び25年度実施予定について
	佐藤 啓史 議員 1. 市制55周年について 2. 防災備蓄について 3. 教育現場における夏の暑さ（熱中症）対策について		戸坂 健一 議員 1. 海洋エネルギー実証試験について 2. 教育問題について
	藤本 治 議員 1. 公共交通の調査研究とデマンド型乗合システムの導入について 2. 保育所の再編と認定こども園の導入について 3. 地方公務員の給与の削減について 4. 生活保護削減について 5. T P P参加と勝浦市への影響について		磯野 典正 議員 1. 中心市街地活性化について 根本 譲 議員 1. 空き家対策について 2. 通学路の安全対策について



農業政策について

丸 昭 議員
(新世会)

問 水田農業について、今後どのように展開していく考えなのか、また、T P Pについても避けては通れない状況と思うが、市長の考えをお聞きます。

答 本市の水田農業を振興するには、未整備地域の小区画不整形な水田について、一刻も早く圃場整備事業を実施し、集団化を図る事により大型機械による農作物の効率化を図る必要があると考えます。また、より一層生産コストを引き下げ、ため農業機械の共同利用の促進、担い手への農地の集積や米の直接支払交付金への加入促進により水田農業経営の安定を図りたいと考えています。

ます。米は日本国民の主食であり、主食を自国で賄えないようでは国家としての存亡に関わるため、国には特に米を関税の聖域として死守するように切に願うものであります。

問 圃場整備の進捗率は24・4%と近隣市町と比較すると極端に低い状況をとどの様に捉えているのかお聞かせ願いたい。

答 事業要件を始めとして従事者の高齢化、有害鳥獣被害や農地の立地条件により事業費が高額な事などが要因で整備が遅れていると考えられる。

インフラ整備について

問 各地区区長さんを始め、多くの市民から日常生活の環境整備について多くの要望がなされているが、その多くが未処理と伺っている。市民の日々の生活の足を照らす政策こそが最優先課題と考えますが、今後の市長の取り組みについてお聞かせいたします。

答 市民の日々の生活環境づくりが最優先課題である事は十分認識しておりますので、その時々予算枠の中で選択を図り、箇所付けや事業手法を考えて今後とも要望等に対して出来る限り対応し、暮らしやすい地域環境を整備していきたいと考えます。

問 地域環境整備を進める上で、材料費等の行政負担により「地域で出来ることは地域で」を進めるための条例整備を検討する考えはないか。

答 今後あり得るすばらしい方法としたいと思いますので、これについては前向きに考えていきたい。



鈴木 克己 議員
(新創かつうら)

勝浦市地域環境 総合計画について

問 昨年度計画期間が終了した地域環境総合計画について、昨年9月議会の質問に対する答弁では、「現在策定中であり、今後必要に応じ予算措置を行い、環境市民会議、庁内検討会などを開催し、環境に関連する様々な施策を展開できるように計画を策定する。」とのことであったが、現時

点で策定されていない。新計画策定への対応と今後の対応について伺う。

答 新計画策定の作業を進めたが、完成に至っていない。河川環境や自然環境調査を踏まえ今年度中に新計画を策定する。

勝浦市地球温暖化防止 対策実行計画について

問 平成21年度に策定した勝浦市地球温暖化

防止対策実行計画は、計画期間が昨年度で終了したが、この間にどのような取り組みが行われたのか。引き続き実行計画を策定することが必要と思うが、その策定プロセスについて伺う。

答 市の事務事業についてのエネルギー使用量を把握し、温室効果ガスの削減に努めた結果、電気使用量、公用車燃料使用量、灯油等その他燃料で設定した目標値より大幅な削減になった。平成25年度以降も環境省が示した計画作成マニュアルを参考に取組む。

勝浦市有害鳥獣被害 防止計画について

問 有害鳥獣対策の現況と本年度の対策及び計画について伺う。

答 有害鳥獣の被害防止計画により、被害の多い地域やその周辺に年間を通してくりり罠や箱罠を設置し捕獲するとともに、狩猟期間を除いた期間に一斉捕獲を実施し、被害防止の解消に努める。

問 最近、テレビの報道番組でも話題となっ

ているキョンについて、千葉県キョン防除実施計画にも明記されたキョン発生元である勝浦市としての対応について伺う。

答 稲や芋類等の被害の他、自然植生への影響、芝や花壇の花など生活への影響もある。市としては、罠や猟銃による捕獲の強化を実施する。県の有害鳥獣被害地域で構成する対策協議会を通じて捕獲に対する県補助の要望と、市としてキョン対策の先頭に立つて対策強化を申し入れる。

河川環境状況調査・ 美化事業について

問 浜勝浦川の汚濁、悪臭は以前から問題となっており、抜本的な改善策がない状況下で昨年度実施した河川環境調査に基づく浜勝浦川の汚濁原因と対応について伺う。

答 自然の水量が少なく、汚濁原因は周辺住民や事業者等の排水に原因がある。事業者に対し適正な排水処理指導を行う。また、合併浄化槽の設置促進、新たな環境改善の補助事業も検討する。

市制55周年について



佐藤 啓史 議員
(新創かつうら)

問 市制55周年の記念事業を行う目的と意義は？

答 一つには、市政の各分野で功労・功績のあった方々への感謝と表彰。二つには、次代を担う子ども達に市政に対する関心とまちづくりへの参加意識の高めること。三つには、市民とともに祝い、勝浦市の更なる飛躍を祈念することである。

問 市制55周年を記念して、名誉市民について検討してどうか提案する。

答 市議会の代表者や有識者等からなる名誉市民選考委員会の設置を検討したい。

防災備蓄について

問 本市の防災備蓄庫の配備状況と防災備蓄品についてお聞きする。

答 飲料水、食料及び毛布といった生命維持に不可欠な物品は市役所と各中学校に備蓄している。また、避難所等で必要な70種類の防災用備蓄資材を17ヶ所の備蓄倉庫に備蓄している。

問 紙おむつや女性用生理用品など生活弱者のための備蓄品は備蓄されているか。

答 紙おむつや生理用品などは現在のあるところ備蓄していない。今後、備蓄する方向で発注の準備をしている。

旧新戸小学校跡地に 建設予定の(仮称) 防災備蓄センターに備蓄 される災害物資について お聞きする。

答 備蓄する物品の全面的な見直しを行うとともに、現状の備蓄倉庫との役割分担についても再検討する。また、災害時における炊き出し等、併設の学校給食共同調理場との連携、活用が図られるよう備蓄を強化したい。

教育現場における夏の暑 さ(熱中症)対策について

問 市内小中学校における夏の暑さ(熱中症)対策についてお聞きする。

答 こまめな水分補給や屋外での活動時には事前の健康観察、帽子の着用など、児童・生徒の健康管理に十分注意している。また、保護者には保健だよりでの注意喚起を行うとともに、職員に対しても予防や応急処置について周知している。

問 昨年までに熱中症による児童・生徒の報告はあるか？

答 平成23年度、平成24年度ともに熱中症の報告はない。

教室にクーラー・扇 風機などの設置を求 める。

問 今年の夏までには全ての学校で、教室に扇風機が設置される予定となっている。クーラーの設置については、立地条件や教室環境等の状況を見ながら検討したい。





藤本 治 議員
(日本共産党)

デマンドタクシーの導入と段取り

問 「地域公共交通の需要に関する調査研究」で提案されているデマンド型乗合システムの具体化への段取りをご説明ください。

答 この調査研究をもとに新たな公共交通の導入案として、市民バスを廃止し、デマンド型（需要に応ずる）交通システムに移行する考えです。段取りとしては、地域公共交通活性化協議会を今年7月に立ち上げ、来年10月にはデマンド型乗合タクシーの試験運行が開始できるよう、必要な手続を進める予定です。

保育所再編と認定こども園の導入

問 市民会議の提言を受けて、市はどう対応するつもりですか。

答 当面、配置は中央、上野、総野の3つの保育所とし、中央保育所は幼保連携型認定こども園として整備します。

問 国の枠組に合わせるのではなく、こども達のために何が一番いいかを考えて、勝浦幼稚園と中央保育所が今まで培ってきたものをそっくり引き継げるよう施設として一体のものをづくり、それぞれが独立して運営しながら互いに連携していく道があるのではないかと。

答 私どもも何が子どもにとつていいのかを考え、幼保連携型の認定子ども園がいいだろうと思っているところです。

地方公務員給与の削減について

問 地方公務員給与の削減を前提に、地方交付税を一律削減したことは前代未聞のやり方である。地域経済にも甚大な影響を与えます。市の見解を伺います。

答 地方公務員の給与は、地方が自主的に決めるべきものであり、地方

の固有財源である地方交付税を給与削減のために用いることは地方の財政自主権を侵すものである。また、厳しい地域経済を回復させるためにも問題であると認識しています。

問 市職員への給与削減は行うべきでない。

答 行わなかった場合、市民サービスに影響が見込まれることから、給与削減を行います。

生活保護について

問 生活保護受給者に対する就労支援ということで自立活動確認書が配付されている。病氣の方にも一律に渡されていないか。

答 ケースワーカーの方でそれぞれのケースに対応しています。

TPP参加の影響

問 TPP参加が勝浦に与える影響は。

答 最も大きな影響を受ける品目はコメで、4億円余りの産出額が、県の算出基準では2億円余りに半減する見込みです。



吉野 修文 議員
(新世会)

基盤整備を伴う道路整備について

問 圏央道が開通して市原鶴舞インターから県都千葉まで行くために、同インターから高速道路で県都に行くか、国道297号線あるいは市原インターから県都に行くか市長はどう考えるか。

答 一般的には勝浦から国道297号線を利用されると思う。

問 国道、県道については、それぞれ国、県の問題ですが、ただ黙っていても道路は良くなるかと考えます。中学生の自転車通学路になっている県道の道路拡幅について、地元区長会から要望書が提出されているが、同一路線の複数工事は出来ないと言われ、工事は始まっておりません。そこで、当市内に片側一車線が取れない県道の路線

名と距離について伺います。

答 概数ですが、天津小湊夷隅線で約4キロ、小田代勝浦線で約2キロ、勝浦上野大多喜線で約3キロ、勝浦布施大原線で約2キロ、上布施勝浦線で約2キロ、勝浦港線で約1キロで確保されています。工事が進まない理由は、県の財政事情、地形的な道路計画の難しさ、計画に対する地権者との不調などが原因と考えられます。なお、中学生の通学路の道路改良については、今後も引き続き県に要望してまいります。

問 前年度から旧名木小学校区地域において水田の基盤整備を実施しようという機運が高まっています。市当局において地区単位でなく小部落のあるいは農家組合単位の基盤整備の有効的な説明会を実施できないか伺います。

答 また、県道、市道の拡幅については、基盤整備を伴った道路拡幅が一番早い道ではないかと考えるが、市長の見解を伺いたい。

答 市としても農地の有効利用により、農業経営の効率化を図る上でも基盤整備、圃場整備を是非推進する必要があると考え、今後は農家組合単位などによる説明会も行います。

問 基盤整備が行われ、ライフラインが整備され地域住民が文化的生活を送るため、今後も強力な支援をお願いしたい。市長の考えは。

答 勝浦の農家を守り、維持発展させるにはラストチャンスで受益者負担を5%とし、私も地元に出向き地元の意欲を促したい。





松崎 栄二 議員
(新創かつうら)

住宅リフォーム 助成制度について

問 昨年度実施したその実績と成果についてお伺いします。

答 平成24年度の実績で5月申し込み件数28件、補助金額368万8千円、工事金額4千239万3千8円、効果倍率11・5倍でした。以下、10月まで合計64件、補助金総額965万3千円・工事金総額1億1千968万513円で効果平均倍率12・4倍でした。

問 近隣市町で引き続き実施して成果が出ているこの制度を今年度当初予算に盛り込まれなかった理由は。

答 前年度は、東日本大震災の影響から本市の景気や経済活動が冷え込み、この緊急経済対策のために単年度事業で実施し一定の経済波及効果はあったと思います。

その後は国の10兆円強からなる大型補正予算いわゆるアベノミクス、これの経済対策で本市も15ヶ月トータル11億の予算で経済活性化に向けて対策を進めていきます。

国の補正予算は国の政策に基づく予算で、ほぼ100%国で見られるため、一時期、事業は起債しませんが償還分は殆ど100%見てください。それに渡りの船で、平成25年度に予定している事業、平成24年度の補正予算合わせて23億円、これを平成25年度に繰り越しました。

そうした施策を進めているため、今年度予算には計上していません。

問 助成対象にならなかったケースはあったか。

答 申請条件があり住宅に限ると申請者に周知していましたが、事前問い合わせはありましたが、助成対象外はありませんでした。また、助成額で増額申請が1件、減額申請が1件ありました。

問 近隣市町で実施している10%の助成金制度は当市の業者が他市町

へ見積もりしても不利になるが。

答 近隣市町の状況につきましましては承りました。

問 住宅に限らず、店舗等のリフォームも含めた制度で、おもてなしの街並み景観事業としては。

答 確かに今おもてなしで、勝浦らしい風情をリフォームしながら維持していくことは非常に大事だと思います。

問 僅かな予算で数十倍の経済効果が発揮できるこの制度、正にサルトノミクスの出番ではないでしょうか。市民からの要望が多いこの住宅リフォーム助成制度、民間活力を活かした緊急経済対策として早急に実施されまじょうお願いいたします。

答 今のところは住宅リフォーム助成制度の実施予定はありません。



戸坂 健一 議員
(新創かつうら)

海洋エネルギー実証試験 公募への応募について

問 政府の総合海洋政策本部は、本年度中に海洋エネルギー実証試験地を自治体から公募する方針を明らかにし、公募条件も公開した。首都圏に近く、実証試験地として適した位置にある勝浦市も「海洋エネルギー実証試験地公募」に応募すべきと考える。前回の質問時には「検討する」という回答だったが、実証試験応募の是非について改めて市のお考えは。

答 この実証試験応募は基本的に都道府県が対象であり、市町村が応募する場合は県の同意が必要。県としては現在応募の考えはないとのこと。市単独で応募するには調査費用等の負担が必要で、費用対効果の観点から応募できる状況にな

い。

問 海洋エネルギーが豊富なこ勝浦市は、海洋エネルギー実証試験の適地であり、実現すれば新しい産業誘致にも繋がる大きなチャンスだ。応募を諦めるのではなく、二次三次の募集、先進企業の誘致に向けて引き続き調査研究を進めては。

答 千葉県主体で応募し、勝浦市が協力するような立場で実施できないか、という話はしている。

教育問題について

問 道徳教育について、現在政府は道徳の教科化にむけて準備を進めている。私は道徳教育を非常に重要だと考えているが、道徳教育の必要性について教育委員会はどうか考え、また道徳教育の教科化について賛成か反対か、その理由についてもお答え頂きたい。

答 え、現在、道徳について重点的に指導している。道徳教育の果たす役割は大変大きく意義あるものと考えており、より一層の充実を図る。

教科化については、心の内面を評価するのは非常に難しい為、敢えて教科化せずとも現行の道徳教育の方針で良いと考える。

問 一昨年起きた大津市におけるいじめ事件の際、市町村における教育に係わる責任の所在が問題となった。

答 もし今、教育委員会において問題が発生した場合、最終的に誰が責任を取るのか。

問 現在、学校の先生方は非常に多忙な状態にある。教育改革の為に行事の精選などを行い教師の負担を軽減する事が必要と考えるが。

答 現在、多くの教員が多忙感を感じながら勤務している。教育委員会では、学校行事の精選、事務のスリム化、複数顧問制導入による部活指導の負担軽減等を行うと共に学校職員の労働時間を把握、時間外勤務の適正管理に努めている。



磯野 典正 議員
(新創かつうら)

中心市街地活性化について

問 勝浦市総合計画第1次実施計画の商業の推進について

①平成23年度、平成24年度の空き店舗対策についてどのような実施内容であったか？

②今現在の中央商店街の空き店舗の数は？

③中央商店街と行政との間でどのような連携がなされているか？

答 ①長期・短期的な空き店舗利用の推進を図るとなっているが、

長期的な利用については店舗兼併用住宅が多いことから困難な状況。一方、短期的な利用については、イベント等で利用を図っている。

②空き店舗の状況は平成25年2月末現在24店舗。③空き店舗対策についてはイベント時に積極的

な活用をお願いしている。

問 中心市街地活性化のための助成制度（個人・法人・団体を対象に改修工事費・家賃の一部の助成・但し、商工会員、商店会に所属することが原則）（※他市の事例）といった制度を創設することは考えられるか？

答 先進地事例を参考にし、市が行わないというのではなく、研究していく。

問 歴史ある勝浦朝市の今後の活性化に向けた関係団体（朝市運営委員会・朝市しんこう会）との連携はどのようにされているのか？

答 朝市サミットへの参加やイベントを開催する中で朝市のPRをするための企画をお願いしている。また、今後の朝市のあり方について話し合う場を設けたり、朝市案内人を配置し朝市の観光情報PRに努めている。

問 関係団体との話し合いの場はどのくらいの頻度で行われているのか？

答 今年に入り1回。今後は年に数回開催し

ていきたいと考えている。

問 朝市しんこう会に所属している方は市内・市外でどのくらいいらっしゃるのか？

答 平成24年1月現在で92人。市内会員数53人、市外会員数39人。

問 市長への手紙でも朝市についての意見は多く出されている。関係団体だけでなく色々な年齢層の方が入って朝市について考える会議にすることは可能か？

答 関係団体である朝市運営委員会と朝市しんこう会との協議が必要であるが、積極的な会議が出来るように努力する。



根本 譲 議員
(公明党)

空き家対策について

問 以前にも、市民の方からの陳情で、近隣に今にも崩れそうな空き家が何年も放置されたままになっており、強風が吹けば壊れた戸やトタン屋根が飛んでくる、騒音などで安心して暮らせない、また、雑草が生い茂り環境の悪化に繋がっているというもので、市に対応を求めたものでありました。

答 その後の進捗状況をお聞かせください。

問 建物の所有者の財産権があり、行政が勝手に取り壊すということは法的に財産権の侵害にあたるため、できません。

答 本市においては「勝浦市きれいで住みよい環境づくり条例」を制定しており、この条例に基づき空き家の適正管理につい

て、適宜、建物所有者に指導する等を行ってまいります。

問 「勝浦市きれいで住みよい環境条例」の制定により一定の効果を上げているのか。

答 平成24年度で49件の問い合わせがあり、文書等により指導を行い、改善されたケースもあります。

今回の空き家については、平成22年に管理状況等の報告をいただき、平成24年度以降は指導等を2回行っておりませんが、大きな改善はみられません。

生活環境課としては定期的に見回り、トタンが飛びそうで危険と思われるものについては撤去等をしているのが現状です。

問 勝浦市の条例だけでなく、今後の空き家対策として対応できるものか、所有者に対し厳しい条例が必要だと思いませんか？

答 崩れんばかりの空き家の隣にお住まいの方は、まさに不安で息苦しいと思います。市の条例では非常に弱い。いわ

ゆる行政事務条例を制定すべきではないかということですが、憲法で保障されている財産権との調整が必要であり、ですので、今後、研究したいと考えます。

通学路の安全対策について

問 通学路の安全対策の対応状況が市ホームページで公表され、勝浦、豊浜、興津、清海小学校の市管理道路分の対策内容は分かりませんが、県管理道路分である郁文、上野、総野小学校が公表されていない。

答 県管理道路の対応状況は、通学路の合同点検後、早急に対応が可能な箇所から順次、実施していると聞いている。

問 通学路の安全対策については、今後も恒久的に取り組むべきと考えるか。

答 今後も通学路の安全を確保するため、危険箇所改善に係る要望等を含め、道路管理者、警察署、学校、教育委員会による安全点検を実施したいと考えます。

5月臨時会審議結果

議案番号	件 名	結 果
議案第27号	専決処分の承認を求めることについて（勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定について）	承認◎
議案第28号	専決処分の承認を求めることについて（勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	承認◎
議案第29号	平成24年度勝浦市一般会計補正予算	可決◎

6月定例会審議結果

議案番号	件 名	結 果
議案第30号	工事請負契約の締結について	可決◎
議案第31号	一般職の職員の給与等の臨時特例に関する条例の制定について	可決○
議案第32号	勝浦市税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第33号	勝浦市子ども・子育て会議条例の制定について	可決◎
議案第34号	勝浦市放課後児童健全育成事業条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第35号	勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第36号	勝浦市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第37号	平成25年度勝浦市一般会計補正予算	可決◎
請 願 1 号	T P P交渉参加に関する意見書の提出を求める請願	継続審査○
請 願 2 号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	採択○
請 願 3 号	「国における平成25年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	一部採択◎
発議案第4号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	可決○
発議案第5号	教育予算拡充に関する意見書について	可決◎

◎全会一致 ○賛成多数

編集後記



議会だより第146号をお届けします。

本号は、平成25年5月臨時会及び6月定例会について編集いたしました。

詳しい内容は、市立図書館及び市役所情報公開コーナーに備えてあります『勝浦市議会会議録』をご覧ください。また市のホームページにおいてもご覧いただけます。（<http://www.city.katsuura.lg.jp>）

お気づきの点やご意見、ご要望がありましたら、勝浦市議会報編集委員会までお知らせください。

勝浦市新官1343番地の1

勝浦市議会事務局内

勝浦市議会報編集委員会 ☎ 7 3 - 6 6 6 2

みなさんの議会を傍聴しませんか

議会はどなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会事務局へお申し出ください。

【傍聴者の状況】

平成24年9月定例会	43名
平成24年12月定例会	40名
平成25年3月定例会	20名
平成25年6月定例会	36名